

講座 30	食の文明史～農業・牧畜文化を通じて人と食の在り方を考える				オンライン併用
	【会場定員】150名    【オンライン定員】100名    【受講料】 2年会員13,380円    1年会員15,060円    聴講生20,080円				
	『エクセレント』エクセレントⅢ    【時 間】 毎回 14時00分～15時30分（計12回）				
概要	80億人の人類にとって不可欠な食糧確保の手段である農業（含畜産）を原点に食糧問題を学ぶ講座です。農業の発展の歴史、農耕に伴う負の環境問題、食糧安全保障問題、そして未来に向けた持続可能な国際協力（SDGs）等の視点から「人と食糧の問題」を学びます。				
回	月/日（曜）	会 場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/ 8(火)	新百合21ビル B2 多目的ホール	はじめに：人と食と農業のかかわりを考える	東京大学名誉教授 唐木 英明	
2	10/22(火)		穀物等の食材からみた文明の成立とその食文化の特質    **遠隔講義	立命館大学食マネジメント学部教授 南 直人	
3	10/29(火)		大航海時代における穀類等の移動（旧大陸と新大陸間の交流）    **遠隔講義		
4	11/12(火)		世界の食料と貿易    **遠隔講義	宮城大学教授 三石誠司	
5	11/19(火)		世界の農業技術の変遷	北海道大学教授 野口 伸	
6	11/26(火)		水の利用技術について―農業と共に始まった日本の森林管理―	東京大学名誉教授・かわさき市民アカデミー理事長 太田 猛彦	
7	12/10(火)		穀物貿易からみた目に見えない世界の動き    **遠隔講義	宮城大学教授 三石誠司	
8	12/17(火)		ユーラシア大陸の美味の歴史：内陸料理から沿海料理へ―    **遠隔講義	中央大学名誉教授 妹尾 達彦	
9	1/21(火)		農業の環境対応と国際協力	東京大学名誉教授 本間正義	
10	1/28(火)		食糧の自給と食料安全保障を考える（自由貿易体制と緊急時の困り込み）		
11	2/ 4(火)		飢餓対策そして飢餓と革命	東京大学特任教授・名誉教授 小野塚知二	
12	2/18(火)		まとめ：再び人と食と農業のかかわりを考える	東京大学名誉教授 唐木英明	
連絡 事項	「**遠隔講義」では講師の先生は会場外からオンラインでご講義くださり、会場でご受講の皆様にはスクリーンでご受講いただきます。				